

(様式2)新規評価シート

農政部 農地整備課

事業名		県営かんがい排水事業		路河川名等				
事業毎の通番		1	市町村名	茅野市	箇所名(ふりがな)	大河原堰(おおがわらせぎ)		
事業概要	事業目的	本水路は、寛政4年(1792年)に開削され、茅野市玉川地域にある314haの水田に用水を供給する幹線水路であるが、土水路と老朽化した石積水路の区間が多く、浸食による水路の崩壊や漏水が発生し、役員は全てに優先して、応急措置や維持管理に多大な労力を費やしている。このため、崩落箇所や漏水箇所について、施設の安全確保と用水の安定供給を図るための対策を講じ、役員の責務と負担を軽減させ、営農に費やす時間を確保する。						
	しあわせ信州創造プランにおける位置付け	1-3 夢に挑戦する農業		事業実施の根拠法令等	土地改良法			
	関連する事業、計画等	第2期長野県食と農業農村振興計画、第4次茅野市総合計画、第7次土地改良長期計画 中山間総合整備事業(御柱の里地区)						
	保全対象・範囲 受益対象・範囲	大河原堰土地改良区の管理する区域 受益面積 A=314ha						
	着手年度	平成29年度	事業期間	5年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)		
	完成年度(見込み)	平成33年度	費用対効果	1.2		国庫	その他	県債
全体事業内容(主な工種)	用水路工 L=1,200m			240,000	120,000	60,000	54,000	6,000
年度事業内容(主な工種)	実施設計 一式			15,000	7,500	3,750	3,000	750
事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	作物の生産性向上、災害防止、維持管理費の軽減						
	間接的効果(定量的・定性的)	耕作放棄地の発生防止、農業集落の定住促進						
評価の視点	必要性	○受益戸数:701戸 ○受益面積:314ha ○地域用水:玉川地区及び宮川地区の防火用水					評価	A
	重要性	○用水不足: 受益面積の100% ○関連計画等: 第2期長野県食と農業農村振興計画、第7次長野県土地改良長期計画、第4次茅野市総合計画 ○人・農地プラン: 平成28年3月見直し済 ○日本型直接支払制度: 多面的機能支払の取組を検討中					評価	A
	効率性	○費用便益比(B/C): 1.2 ○事業期間: 5年(H29~H33) ○工法などの比較: 二次製品及び自然石水路の検討					評価	B
	緊急性	○近年の自然災害: 2回(平成26年) ○現況排水能力: 現施設の100%以上 ○用水の状況: 未改良					評価	A
	計画熟度	○事業情報の共有: 土地改良区組合員に周知 ○地域の取り組み: 水路下流域の住民からの要望を計画に反映 ○地域の合意形成: 目的について土地改良区組合員及び水路下流住民の合意済み ○住民との協働: 地域住民が主体となり維持管理を行う					評価	B
	部意見	未整備の土水路と石積水路であるため、農業用水の供給に支障を来しており、必要性が高い。災害発生時の下流域への被害は甚大であることが予想されるため、緊急性が高い。	行政改革課意見	整備対象の水路は土型または石積みであり、維持管理や用水の安定供給に支障があることから、必要性、重要性、緊急性が認められる。	評価結果	○	総合評価	A

事業概要説明図表	【位置図、平面図、構造図等】(縮尺任)	
	①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	寛政4年(1792年)に開削され、220年余りが経過する全長14.4km幹線水路である。一級河川滝の湯川から取水し、茅野市の314haの水田を潤すとともに、防火用水等の生活用水としても非常に重要な水路である。しかし開削されたままの区間においては、漏水による用水不足や、水路法面の崩落により維持管理に多大な労力を要している。
	②地域からの要望経緯及び地域の関わり	大河原堰と隣接する地域住民および別荘管理会社からも改修要望がある。水路改修にあたっては、地域住民等の要望も計画に反映させる。
	③事業説明等の経緯	H27.1.13: 茅野市、茅野市大河原堰土地改良区との協議により事業実施方針の決定。 H27.3.15: 茅野市大河原堰土地改良区の各区総代に事業概要説明。 H28.3.13: 茅野市大河原堰土地改良区の各地区役員に事業及び今後のスケジュール説明。
	④他事業・プロジェクトとの整合、関連	第2期長野県食と農業農村振興計画、第4次茅野市総合計画、第7次土地改良長期計画に基づき、用水の安定確保による農業生産力の向上を図る。平成27年度から当受益地内で中山間総合整備事業(ほ場整備)を行っており、中山間総合整備事業の効果を高めるためにも、本事業は重要である。
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	水路改修区間下流部は平成17年度に、茅野市による環境調査が実施されている。今回の改修に当たっては、この調査結果と今後行う追加の調査により、貴重種の移植、施工区間の変更及び線形の変更などを検討し、極力影響を減らす計画とする。	
⑥地域活性化への影響と配慮	用水の安定供給により、生産性の向上、維持管理費の軽減を図り、平成27年度から実施中の中山間総合整備事業(ほ場整備)の効果をより発揮することで、耕作放棄地の発生防止や農業集落の定住促進が図られる。	
⑦その他	事業代表地点の緯度経度 北緯:N 36.067555 東経:E 138.281921	